

平成 28 年度 第 2 回放課後子供教室コーディネーター等研修会 受講者振り返りアンケート集計

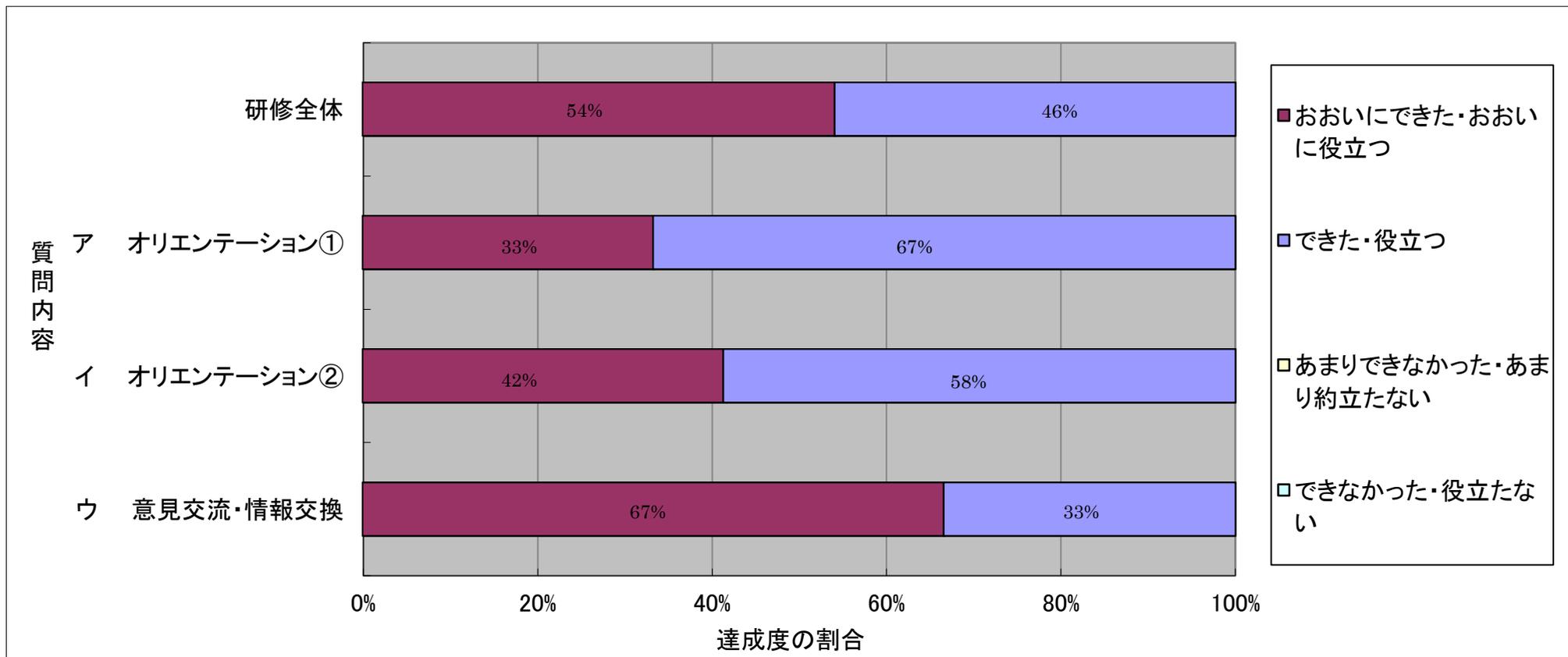
<質問内容>

研修全体：今回の研修で学んだことは、明日からの仕事に役立つものになりましたか。

ア：オリエンテーション『ワクワク学び隊』を中心とした県内の放課後子供教室の取組について』の内容は放課後子供教室の運営に役立つものになりましたか。

イ：オリエンテーション「教室運営に生かせるちょっとしたコツ」の内容は放課後子供教室の運営に役立つものになりましたか。

ウ：意見交流・情報交換の内容は放課後子供教室の運営に役立つものになりましたか。



<振り返りアンケート記述から>

研修全体

- 教室運営を行う上で育みたい心をその都度意識して取り組むことが必要であると思いました。
- 毎回、企画の内容について悩んでいました。他市町の方と交流することで、参考になる事例を多く聞くことができました。
- 活動に対して悩みや思いがありますが、子供たちとの関わりを通して、放課後子供教室が地域と地域の人に関わる大事な場、子供たちを育てる場となっていることが認識でき、活動のはげみとなりました。

ア オリエンテーション「『ワクワク学び隊』を中心とした県内の放課後子供教室の取組について」

- 日程の都合が合わず、なかなかワクワク学び隊を呼ぶことができませんでしたが、大学生が都合をつけて来てくださった時には、子供たちがすごく喜びとても効果がありました。また呼ぼうと思います。
- 今年度はたくさんの「ワクワク学び隊」をお呼びして活動することができました。子供たちもとても喜んで活動していたので、今後もしっかり取り入れていきたいと思います。
- 「ワクワク学び隊」の派遣だけでなく、現地に毛利社会教育主事が出かけて様子を見てくださっていることが素晴らしいと思いました。スタッフからも大学生へもっと前向きな声掛けをしていくようにしたいです。

イ オリエンテーション「教室運営に生かせるちょっとしたコツ」

- とても分かりやすくまとめてありました。目立たない子供たちを意識して関わること。子供たちに失敗の原因やその後の行動について考えさせることなど、出来ているようで実は出来ていないと感じました。
- 子供への接し方が難しく困っていたので、いいヒントになりました。このような研修について時間をとって深く聞きたいです。
- 「叱るコツ」を常に意識して子供たちに接していきたいです。なぜ叱るのか、理由を言って納得させること、子供たちを認めることも心がけたいです。

ウ 意見交流・情報交換

- 取り組み方などが異なる地域との交流ができてよかったです。他の教室も同じ悩みを持っておられ、共感できました。
- 地域によって方法や内容も違うということがよく分かりました。それぞれ条件が限定されている中でがんばっておられていることが分かりました。
- 他市町の活動内容を直接聞けるので、質問をすることもでき、とても有意義な時間となりました。